

## 2019 年度初等中等教職員国際交流事業

# 中国政府日本教職員招へいプログラム (中国派遣プログラム)

[2019 年 6 月 9 日(日) - 6 月 15 日(土) : 中国/北京市、雲南省、上海市]

## 募 集 要 項

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターでは、文部科学省の委託の元、中国政府（中国教育部）の招へいにより、「中国政府日本教職員招へいプログラム」を実施します。つきましては、以下の要領で 17～20 名を公募にて募集します。

### 1. 背景

ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）は、「戦争は人の心で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とするユネスコ（UNESCO:国際連合教育科学文化機関）の理念に沿って、多様な文化が尊重される平和な社会の実現を使命として 1971 年に設立され、教育と文化の分野においてアジア・太平洋地域の連携・交流や持続可能な社会の実現を推進する団体としてさまざまな事業を展開してきました。子どもたち・学校・地域への波及効果が高い、学校の教職員を対象にした国際交流事業には 2001 年より携わり、「先生が変わる 子どもが変わる 未来が変わる 学びの場」づくりを担っています。

初等中等教育にかかる日中間の交流事業については、国際理解や友好親善のため、2002 年より国際連合大学が文部科学省の協力のもと、ACCU を委託機関として「国際教育交流事業」の一環で中国教職員の招へいプログラムが実施されました。さらに、2003 年に始まり、2007 年からは中国政府の招へい事業に発展した日本教職員の中国派遣プログラムが毎年行われてきました。これらの事業は引き継がれ、このたびの「中国政府日本教職員招へいプログラム（中国派遣プログラム）」は、文部科学省委託の初等中等教職員国際交流事業として日中間の交流や両国教職員の学び合いの機会をさらに深化させることを目指しています。

### 2. 本プログラムの目的

- (1) 中国の教育現場や文化を肌で感じ、理解を深めること
- (2) 中国との友好親善を促進すること
- (3) プログラム期間中の学びを児童生徒や学校、地域に伝えること
- (4) 将来の継続的な中国との交流のきっかけとすること

### 3. 期待される成果

- (1) 参加者が教育現場で国際理解を推進し、寛容で持続可能な社会の担い手となること
- (2) 参加者や参加者の所属先が中国との持続的な交流を育むこと
- (3) 参加者の価値観や行動が変容し、さまざまな問題や課題に主体的に取り組んでいくこと
- (4) 日中の教育の質が高まること

### 4. 活動内容

- (1) 〈日本にて〉中国の教育政策の現状と課題に関する講義を受講すること
- (2) 〈中国にて〉中国の教職員および児童生徒との教育現場で交流・意見交換すること
- (3) 〈中国にて〉学校および教育・文化施設を視察すること
- (4) 〈日本にて〉学びを各現場にて還元すること

※過去のプログラムにおける活動内容は次のホームページでご確認いただけます。

<http://www.accu.or.jp/jp/activity/person/03-02b-02.html>

## 5. 日程（暫定）

出発前オリエンテーション：2019年6月8日（土）

プログラム実施期間：2019年6月9日（日）～6月15日（土）[7日間]

日付	日程	訪問先	活動
6月8日（土）	派遣前日 （午後）	東京都内	出発前オリエンテーション （中国の教育事情についての講義を含む）
6月9日（日）	第1日目	東京→北京市	東京（羽田）出発 北京首都国際空港到着
6月10日（月） ～ 6月14日（金）	第2日目 ～ 第6日目	北京市 雲南省 上海市	中国教育部表敬訪問 訪問先教育長教育委員会表敬訪問 学校訪問、教育・文化施設等見学
6月15日（土）	第7日目	上海市→日本	上海出発（成田・関西・福岡へ） 日本の各地へ到着

注1：訪問先・活動内容については変更の可能性あり。スケジュールの確定は出国約1週間前になる可能性もある。

注2：ACCU職員は成田に帰国するため、関西および福岡については参加者のみでの帰国となる。

## 6. 参加者

下記の教職員、随行者、計25名程度の参加とする。

- ・2018年度中国教職員招へいプログラムで受入実績のある教育委員会が推薦する教職員
- ・2019年度中国教職員招へいプログラムで受入予定の教育委員会が推薦する教職員
- ・公募により選抜された、中国の教育や中国との交流に関心を寄せる自治体または学校の教職員
- ・文部科学省およびACCUの職員

## 7. 報告書の作成

参加者は帰国後、所定の様式によりACCUに報告書を提出する。報告書は、ACCU編集の実施報告書に掲載する。

- (1) 第1回参加者報告書提出期限：7月16日（火）正午  
※プログラム中の成果について報告
- (2) 第2回参加者報告書提出期限：12月16日（月）正午  
※主に帰国後の取組やその成果について報告

## 8. 渡航費等諸経費

- (1) 中国政府が下記について負担する。

- 中国国内の移動に要する交通費
  - 中国滞在中の宿泊費や食費
  - プログラムの運営に必要な経費（通訳等）
- (2) ACCU が下記について負担する。
- 日本（往路：羽田、復路：成田・関西・福岡のうち最寄り空港）と指定された中国の国際空港間のエコノミークラス航空券
  - 日本国内交通費：オリエンテーション日の会場までの交通費および帰国日の到着空港からの交通費の定額（ACCU の規定に準ずる）
  - オリエンテーション当日（6月8日）の宿泊
- 注1：オリエンテーション当日、開始時刻までに到着可能な交通手段がない場合に限り、前日（6月7日）の宿泊費を支給する。
- 注2：帰国当日中に居住地に到着可能な交通手段がない場合に限り、帰国当日（6月15日）の宿泊費を支給する。
- 注3：本プログラムは公務扱いでの参加となるため、日当は各所属先にて負担する。期間を通して ACCU から日当は支給しない。
- (3) 各参加者の負担
- 海外旅行保険料：プログラム期間中の万一の事故に備え、出発前に必ず各自の責任において加入しておくこと。
  - 上記（1）、（2）以外の諸経費
- (4) 旅券と査証について
- 旅券（パスポート）：入国時に6ヶ月以上有効なパスポートを各自で準備すること。
  - 査証（ビザ）：一般旅券の場合は、ビザの取得は不要。

## 9. 通訳

プログラム期間中は、日本語 - 中国語間の通訳を中国政府が配置する。

## 10. 応募資格

- (1) 以下の要件に合う、日本の初等中等教育機関（教育行政機関を含む）より1名応募可能です。
- 日中両国の教職員交流推進に意欲があること。
  - 教育委員会との調整を含め、応募する教職員がオリエンテーションを含むプログラムの全日程に公務として参加が可能な状況であること。
  - プログラムに参加した教職員がその成果を学校等に還元できる環境が整っていること。
- (2) 所属先の教育長または学校長は、以下の要件を満たし、これらの資質を満たす現職教職員を推薦できます。
- 日本国籍を有すること。
  - 過去に本プログラムに参加したことがないこと。
  - 初等中等教育教職員（教育行政職員を含む）のうち、特に在職3年～15年程度の教員が望ましい（ただし、訪問団長・副団長はこれに限らない）。
  - 健康で、オリエンテーションを含めたプログラムの全日程に参加が可能であること。
  - プログラム期間中の意見交換や文化交流活動に積極的に参加できること。
  - プログラム期間中の学びを帰国後に児童生徒や学校、地域に伝える役割を担えること。

- 将来にわたり中国との教育交流の推進に寄与できること（中国の教職員・児童生徒・学校・地域とのつながりを大切にし、国際理解を推進する立場にある者が望ましい）。
- 団体行動の規律を守り、主体性を持って行動できること。
- 訪問先は日本と習慣の異なる国であることを理解し、突然の変更などにも前向き且つ柔軟に対応できること。
- 日本国内にて、Eメールや電話にて円滑に連絡を取れること。  
※参加決定後は、参加者本人に直接連絡いたします。
- Microsoft Word/Excelなどの簡単な操作ができ、所定のフォーマットに必要情報を入力しEメールで送信できること。
- 帰国後に報告書の提出をすること。
- 中国入国時（6月9日）に6ヶ月以上の残存期間（有効期限）を満たす旅券を所持し、入国日1ヶ月前の指定された日までにその写しを提出すること。

### 1 1. 応募書類

参加を希望する場合は、以下3種類の書類を電子メールで送信してください。手書きの文書は受け付けません。(1)と(2)は指定様式です。ホームページからダウンロードできます。

#### (1) 申請用紙（指定様式）

ファイル名：2019\_中国派遣参加者申請用紙（〇〇〇〇〇〇）

- ファイル名にある〇〇〇〇〇〇は派遣候補者のお名前に替えてください。
- Excelファイルのまま送信してください。

#### (2) 所属先の教育長または学校長の推薦状

ファイル名：2019\_中国派遣推薦状（〇〇〇〇〇〇）

- ファイル名にある〇〇〇〇〇〇は派遣候補者のお名前に替えてください。
- 推薦状のサンプルにある形式に沿って、推薦する教職員名（役職も）、推薦する理由、国際交流の実績、選考結果の連絡先を明記してください。
- 公印を押した推薦状をスキャンし、PDF形式で送信してください。

#### (3) パスポートの写し（2019年6月9日現在、6ヶ月以上有効であるもの）

応募時に有効なパスポートを保有または申請中でなければなりません。参加決定通知後の申請は認められませんので、ご注意ください。

### 1 2. 応募書類の送信先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部

Email: accu-exchange\_ml@accu.or.jp

メールの件名を「中国政府日本教職員招へいプログラム応募（〇〇〇〇〇〇）」とし、〇〇〇〇〇〇は応募者のお名前に替えてください。

### 1 2. 応募締切日時

2019年5月8日（水）正午

### 1 3. 選考

応募者多数の場合は、申請書類をもとに参加者を選考します。

#### 14. 結果通知

推薦状にご記入いただいた「選考結果の連絡先」宛に2019年5月15日を目途にメールにて通知します。

#### 15. その他

以下に関して、あらかじめ了承した上で応募すること。

- オリエンテーションやプログラム期間中に撮影された写真等は、文部科学省、ACCU、中国教育部の作成する資料やホームページなどの紙・電子媒体で、随時使用、掲示・掲載される。
- 参加者から提出される申請書類にある情報は、プログラム準備・運営のため、必要に応じて、文部科学省、在中国日本国大使館、中国教育部、中華人民共和国駐日本国大使館に共有される。
- 本事業への参加後に、アンケート調査への協力依頼がなされる。

#### 16. お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部（伊藤・天満）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32-7F 出版クラブビル

TEL: 03-5577-2853 FAX: 03-5577-2854

Email: [accu-exchange\\_ml@accu.or.jp](mailto:accu-exchange_ml@accu.or.jp)